

1 かえるふくしま



- ① 矢内靖史/写真・文
- ② ポプラ社
- ③ 1500円
- ④ E

原発事故被害後に、福島で見つけたカエル。「カエルの目にこの世は、どのように映っているのだろうか」に込められた作者の言葉は「ふるさとにかえること」「福島がよみがえること」と読みとることができます。文字数は少ないですが、写真の美しさとともに、福島再生への作者の強いメッセージを感じることもできる作品です。

2 パヤタスに降る星

ごみ山の子どもたちから届きたいのちの贈り物



- ① 山口千恵子/文
葉祥明/絵
- ② 中央法規出版
- ③ 1500円
- ④ 36ヤ016

フィリピンのゴミ山の劣悪な環境の中で懸命に生きる子どもたち。家族のため、夢のためにごみを求めて歩く子どもたちにスポットをあて、明るさと希望を失わない生き方から、物質的に恵まれた生活だけが本当の幸せなのかということや子どもたちの貧困について考えさせてくれる作品です。

3 和算って、なあに？ 日本の算数



- ① 小寺裕/著
- ② 少年写真新聞社
- ③ 1600円
- ④ 41コ015

江戸時代の日本人は、世界中のどこの国の人よりも算数が得意だった！？大人も子どもも楽しんだ江戸時代の算術「和算」や世界の算数の歴史も紹介しています。パズルも収録しており、算数に興味を持ったり、算数に対する知識を広げ、視野を広げたりするのにふさわしい作品です。

4 国をつなぐ奇跡の鳥クロツラヘラサギ 日本・韓国・朝鮮の架け橋



- ① 今関信子/著
- ② 汐文社
- ③ 1400円
- ④ 48イ015

絶滅危惧種クロツラヘラサギを観察する目的で、日本と韓国の小学生が交流する様子とその保護活動に力を尽くす人々の話です。言葉の壁を乗り越えて国境を往来するクロツラヘラサギの様子から、人と人、国と国をつなぐことの大切さを訴えてくる作品です。

5 新津春子。世界一のおそうじマイスター！



- ① 若月としこ/著
- ② 岩崎書店
- ③ 1400円
- ④ 51ワ016

「世界一清潔な羽田空港」それを支えるのが、主人公であるおそうじマイスターの春子さんです。二つの国の間で揺れながら、運命の清掃の仕事に出会いたくましく生きる春子さんの姿から、努力し挑戦し続けること、心を込めて仕事をすることの大切さが伝わってくる作品です。

6 深く、深く掘りすすめ！〈ちきゅう〉
世界にほこる地球深部探査船の秘密



- ① 山本省三/著
友永たろ/絵
② くもん出版
③ 1400円
④ 55ヤ016

高学年の子どもが、間接体験から自然科学に興味を抱くきっかけになる一冊。地球内部の「コア」を掘り出し研究することで、大昔の微生物の存在や東日本大震災の津波の原因を明らかにしていく様子が書かれています。まだ誰も見たことがない未知の分野の解明にワクワクすること間違いなし！

7 わたしは樹木のお医者さん
木々の声を聞きとります



- ① 石井誠治/著
② くもん出版
③ 1400円
④ 65イ016

ものを言わない木の声を聞きとり治療する「樹木医」のお話です。私たちに親しみのあるサクラの木を治療していく様子を通して、人間と樹木の関わりについて考えさせられます。作品で紹介される「木の気持ち」を感じることで、普段何気なく見ている木に愛着がわくでしょう。

8 〈10秒00の壁〉を破れ！
陸上男子100m若きアスリートたちの挑戦



- ① 高野祐太/著
② 講談社
③ 1200円
④ 78タ016

日本人が夢見た10秒00の壁を破る日は近い！科学技術の発達とともにその壁に近づいている若きアスリートたちの姿を描いた作品です。スポーツ科学だけでなく選手たちの精神面やタイプの違いについて比較しながら読めるところもおすすめな作品です。

9 坂の上の図書館



- ① 池田ゆみる/作
羽尻利門/絵
② さ・え・ら書房
③ 1300円
④ 91イ016

図書館を利用したことのなかった子どもが身近な図書館を利用し始めることによって、友人や司書、本との出会いの中で成長していく物語です。物語の中で実在する本が登場し、本や図書館を利用してみたい気持ちになる一冊です。

10 セカイヲカエル



- ① 嘉成晴香/作
小倉マユコ/絵
② 朝日学生新聞社
③ 1200円
④ 91カ016

いじめ問題を取り上げた作品。別々な世界に生きる二人の主人公が、自分の世界でいじめの世界を変えようとしている姿がさわやかに描かれています。時を越えて、過去の人たちに出会ったことで、現在の自分に置かれた環境を見つめ直し、友情や家族の大切さにふれることができるお話です。

11 ガラスの壁のむこうがわ



- ① せいのあつこ/著
- ② 国土社
- ③ 1400円
- ④ 91セ016

自分の気持ちに素直に表現して向き合える友達を作るのは難しいけれど、きっといつかそういう友達と出会うことができると思わせてくれるお話です。思春期前期の子どもたちの揺れ動く気持ちや現代の子ども事情を反映させた、子どもたちに考えさせる作品です。

12 流れ星 たかはしけいこ詩集



- ① たかはしけいこ/詩
織茂恭子/絵
- ② 銀の鈴社
- ③ 1600円
- ④ 91タ015

ジュニア・ポエム双書は、子どもにもわかる言葉で書かれている個人詩集シリーズです。たかはしけいこさんの詩は、一つ一つ味わっていくと、幼い頃に感じていたことがよみがえってくるようです。高学年という思春期の入口に詩の世界へじっくり浸ることで、心が豊かになることのできる作品です。

13 戦争といのちと聖路加国際病院ものがたり



- ① 日野原重明/著
- ② 小学館
- ③ 1200円
- ④ 91ヒ015

100歳を超えた今でも、現役医師として活躍してる日野原重明先生が、自身の体験を通し戦争の愚かさや他人を思いやることの大切さを子どもたちへ伝えています。

特に、戦争をいじめに例えてのメッセージは、多くの子どもたちの共感を生むことでしょう。

14 お静かに、父が昼寝しております ユダヤの民話



- ① 母袋夏生/編訳
- ② 岩波書店
- ③ 720円
- ④ 92モ015

ユダヤ民話やユダヤ社会の伝統を伝える例え話、賢者話、ユダヤ教の説話がおさめられた本です。ユーモアやとんちのきいた話の中に、国や時代を超えて共通する教訓や知恵がたくさんつまっています。さらに、ユダヤ文化への理解も深まりますので、異文化に関心をもつきっかけとなるかもしれません。

15 クジラに救われた村



- ① ニコラ・デイビス/文
アナベルト・ライト/画
もりうちすみこ/訳
- ② さ・え・ら書房
- ③ 1300円
- ④ 93テ015

土地開発や野生動物の乱獲によって環境や生態系が脅かされ、また多くの若者が伝統的な世界と現代世界との間で悩んでいるイヌイトの現状が描かれています。

そんな中、自然を保護することで将来への光を見出す少女スキを通し、環境問題や人生を切り拓くことについて考えさせられます。